

2017年7月3日

## 海女研究会

株式会社 三重ティーエルオー 松井 純

鳥羽市「海女文化を活かした活性化構想計画」策定時の議論について

1. 前川行幸先生の「海の環境対策と海女」を受けて、上記計画を読むと

- ①海女が海の管理を行う
- ②アワビ湧く磯場にできる
- ③海女が生活できる

2. 「策定委員会」、「観光」「水産」「教育」「文化」の各 WG 会議を通して、2つの疑問が浮かぶ

- ①海女を産業として残すのか、文化として残すのか
- ②海女のブランド化と鳥羽観光との連携をどのようにしていくか

3. 付帯して考えたい事

- ①鳥羽市の観光への海女の関わり方
- ②神宮と海女、国崎海女など、文化的な海女行事と観光連携とを区別した上で海女のブランド化